

日本に帰国してからスリランカで印象に残っている場所はどこかと問われると、それは何か所もあり答えるのが難しいが、その中でもGampaha(ガンパハ)は最も忘れることができないところの一つと言ってもよいだろう。

ガンパハはコロンボから北へ50～60km行ったところで、列車で1時間強ほどの都市である。観光地ではないので、これといって旅行者が訪れるような特別なところは何もないが、私は5回訪ねたことがある。

ここには「平和寺」という仏教寺院があり、長く日本に住んでいたソーマシリというお坊さんがいる。もう20年位前に初めて日本でお会いし、それから何度もお会いしたことがあった。初めてお会いした時、師はまだ大学で勉強中だったので日本語はあまり出来なかったが、今回スリランカでお会いして、その日本語の上達振りや日本人と同じように冗談や軽口を言うのを聞いて感心させられてしまった。大学卒業後も日本には長く住んでいて、千葉県香取市にある「蘭華寺」で責任者として働いてきた。

なぜソーマシリ師にスリランカで会うに至ったかと言うと、'わんりい'の会員でもある松林蓉子氏が私のスリランカ行きを知り、ぜひ師を訪ねるように勧めてくれたからである。初めてガンパハに師を訪ねたのは、2013年1月で、その時は松林氏がスリランカにいられて平和寺に日本文化センター建設に寄付金を寄せられて、今回その発会式があり、松林氏も来られるということでご案内をいただいた。2階建ての大きな建物の2階部分に日本文化を紹介するものがたくさん展示されている。着物、陶器、書道、書籍、絵画等日本を紹介

するあらゆるものが置かれていた。

その後も10月に図書館のオープニングと老人ホーム建設発会式があるということで、再度案内をいただいて、ガンパハに赴いた。図書館は1月

に訪れた時にはまだ建設中で、本当は4月にオープニングの予定であつたが、建設が遅れ、10月になってしまったようだ。老人ホームの方は平和寺から車で20分ほどの静かなところがあり、今回は土地の確認と地鎮祭が行われた。日本から来られた2人の松林氏の友人と共に参加することが出来た。これから建設が始まり、完成までにはまだ時間がかかるものと思われる。

松林氏は長年(恐らく10年以上も前から)ソーマシリ師を援助していて、事あるごとにス



図書館贈呈式で挨拶される松林蓉子氏とソーマシリ師

リランカを訪れ、師の手助けをしている。2人の仏教を通しての交流は素晴らしいものだと思う。それほど仏教に強い関心があるわけではないので、私にはとても出来ないことであるが・・・。

私はこの他にも5月と7月にもガンパハを訪れた。5月には平和寺で開催されたペラヘラ祭りを見学し、7月には私が教えていた学生の出身高校で文化祭を見に出かけた。

ペラヘラ祭りというのは、スリランカ各地で行われているが、平和寺で行われる祭りは毎年5月のポーヤデーの翌日の夜に行われる。伝統的な踊りや楽隊をはじめとして多数の象の行進、アクロバティックな踊り、キャンディアン・ダンス等々、3時間にも及ぶ仏教的な祭典で、ペラヘラと言うのは「行進・行列」を意味する。これまでアジア最大の祭りと言われるキャンディの仏歯寺によるペラヘラをはじめとして、あちこちでこの祭りを見



バンダラナイケ・カレッジで日本語を学んでいる学生たち



クラシックなたたずまいを見せるガンパハ市役所

てきたので、ここでの祭典にも興味を覚え見ることが出来た。夜8時から12時近くまでのたった一晩だけの祭り、地域の人々と共に見ることが出来た。

7月には教え子の出身高校で文化祭(Education and Science Exhibition 2013)があり、他の日本人の先生や2人の学生と共に出かけた。この高校はBandaranaike College (バンダラナイケ・カレッジ)という名前の男子高校で、スリランカではかなりの名門高校のようだ。文化祭と言っても日本の高校の文化祭とは異なり、かなり高度な研究発表がいくつもあり、入場料を払った理由も納得できる内容であった。

教え子によると、日本語クラブというグループの展示があると言うので、案内してもらったが、大きな教室を利用して日本の文化、言葉、習慣、食べ物、習字などを紹介していて、生徒たちは皆立派な日本語を話していた。その上、生徒たちは将来日本語を学びたいと話していて、きっと将来は日本との懸け橋になる人材が生まれることだろう。

中国語学習クラブというのもあった。他にも法曹、自然科学、写真、物理、鉄道、飛行機、音楽等々様々な展示と実演があり、どれも素晴らしい内容



ホーリークロス教会

であった。テレビでもニュースの時間にレポートされていた。

ガンパハには特別見るべきものはないと最初に書いたが、しかし、ぜひとも記しておきたい建造物がある。ガンパハにはかつてのこの地域の大富豪の屋敷が残されていて、現在は市役所として使われている。インド様式の建物で、見るべき建物と言えよう。もう一つはカトリック教会であるが、たまたま5月にガンパハを訪ねた時に案内していただいたもので、かなり古そうな教会であった。Holy Cross Church (ホリー・クロス教会)といい、こちらもガンパハではぜひ訪ねてみたいところと言ってよいだろう。